



お知らせ

体験講座 Sotto 流が始まります

吹く風が心地よく、暑くも寒くもない過ごしやすい季節となりました。

今年は6月から、特定非営利活動法人「京都自死・自殺相談センター」の基柱ともいえる研修会が始まります。昨年度まではボランティア養成講座と呼ばれていた研修会です。

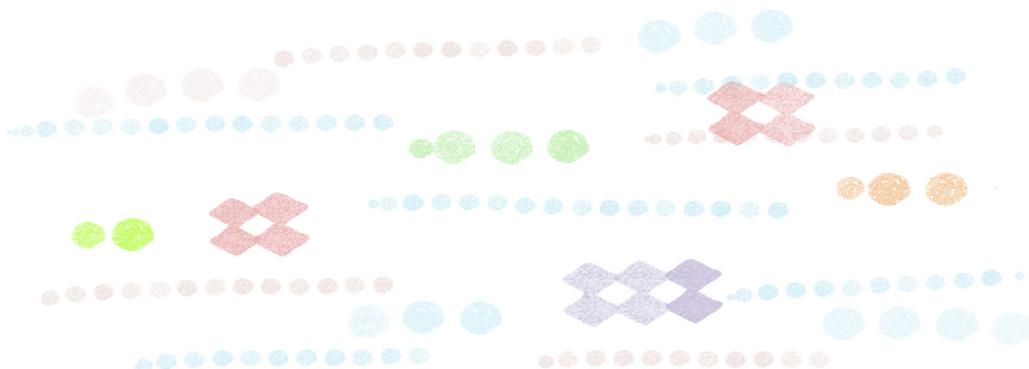
わたしたちは団体の立ち上げ時から、死にたいほどの苦悩をかかえたときの心の居場所づくりをしてきました。「ひとりぼっちにしない」「気持ちをうけとる」という姿勢はこれまでも、そしてこれからも変わることはありません。

昨年度までの研修会と異なるのは前半で自死・自殺にまつわる Sotto 流の対人支援のあり方を体験学習した上で、研修生自身が後半ボランティア養成コースへ進むか否かを判断するという方途です。

研修会は基本的には毎週月曜日、前半7回、後半5回、18:30～21:30まで Sotto で行います。例外は前半、後半ともに土・日2日間の一日連続研修が各1回あります。一日研修に限り、場所は Sotto 近くの悠久な趣のある一念寺を予定しています。

体験講座 Sotto 流を受講して、まずは死にたいほどの苦悩をかかえた方のための心の居場所作りの体験学習をしてみませんか。スタッフ一同、みなさまのご参加をお待ちしています。詳しくは Sotto 事務局まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

(研修委員長 廣谷ゆみ子)



事務局新体制のご挨拶

私は、2015年度に入局させていただき、それまではボランティアとして活動させていただいておりましたが、Sottoの裏方として活動させていただきました。そこから3年間事務局にて活動をさせて頂き、会員の皆さまを初め様々な方に大変お世話となりましたことをこの場をお借りして御礼申し上げます。どのような時にでも「心の居場所作り」を中心に活動をするSottoで活動させていただけたことはとても勉強となりました。今年度からは新しい事務局体制で活動していくこととなりますが、私もボランティアとして、Sottoのファンとして活動していきたいと思っておりますが、会員の皆さまを初めSottoを応援下さっている皆さまにおかれましては引き続き、ご協力いただけますと幸いです。

(メール相談委員長 長嶋蓮慧)

今年4月よりSotto事務局に勤めています、野中といいます。3月に大学を卒業しそのまま入局しました。こんなことを言うのは何ですが、福岡の田舎から京都の大学に進学したとき、まさか将来自分がNPOで働くとは夢にも思っていませんでした。

2年前にボランティア養成講座を受け、徐々にSottoの活動に深く関わるようになっていきました。死にたいときにただ「死にたい」と言える場を作らねばならない、そんな思いは強くなっています。そういう場は未だ不足し続けています。

前任の蓮慧さんからもらったバトンを持って、Sottoがより活動を充実させられるよう一生懸命走ってみようと思います。皆さまどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 野中雅之)

ファンドレイジング・日本に参加して

今年3月、東京にて開催されたファンドレイザー（資金調達を仕事とする人々）の集まる一大イベントである、「ファンドレイジング・日本 2018」に参加してきました。計3日間、NPOや企業のファンドレイジングの一線で活躍する方々のお話を聴き、みっちり勉強してきました。

ファンドレイジングについて素人の僕ですが、そもそも寄付を募ることの意味といった根本的なところから学べ、なるほどファンドレイジングとはやりがいのありそうな仕事だと感じられました。またこの種のイベントとしては国内最大級の規模で、意欲の高いファンドレイザーの方々が集まった会場の活気と熱気たるやすごいものがありました。正直、充満したあまりの熱気に圧倒されましたが、相当に刺激を受けたのは確かです。

Sottoの活動は、「自殺者数を〇人まで減らす」といった数値化できるものを目標とはしていません。ただ目の前あるいは受話器の向こうにいる方にとって、一人ぼっちではないと思える心の居場所をつくりたいという思いで活動しています。そういった価値は定量化できず、客観的な活動意義というものが性質上見えにくいものです。そこがファンドレイジングを行ううえでの障害になり得るように思います。他団体の成功事例やセオリーに学びつつ、やはり私たちは私たちのやり方で資金調達に取り組むしかないのでしょう。Sottoとしての軸は持ちながら、日々考えて努力を積み上げていきたいものです。

(事務局 野中雅之)



今月のことば

<誰もが寂しいのだ・・・>

対岸の美しいネオンを映してゆらゆらと揺れている水面を見つめながら、そろそろ香港を出発しようかな、と思った。

(沢木耕太郎「深夜特急―香港・マカオ―」)

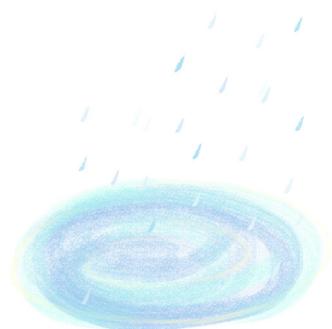
活動報告

メディア掲載

NHK 大阪 4月24日 『おはよう関西』

活動報告

- 4月期電話相談件数…102件（無言20件）
- 電話相談委員会 … グループ研修 4/19 参加15名
- 月期メール相談件数…受信121件、送信93件
- メール相談委員会…委員会会議 4/25 参加6名
- 居場所づくり委員会 … 委員会会議 4/19 参加5名
おでんの会 “食事の場” 4/4 申込17名（参加14名）
- グリーフサポート委員会 … 委員会会議 4/12 参加4名
- 研修委員会 … 委員会会議 4/13 参加5名
- 広報発信委員会 … 委員会会議 4/12 参加5名
- 映画委員会 … 委員会会議 4/23 参加4名



寄付ご協力一覧（敬称略・順不同） 2018年4月1日～30日 受付分

ご協力にこころより感謝いたします

浄土真宗本願寺派
株式会社エクザム
葛野洋明

荻野昭裕
長岡裕之
永江武雄

吉田郁子
ゼンキョウジ
京都市・長慶院
坂梨みちる
曜日慧誠
兵庫教区教務所

匿名希望 1

Sotto コメント

一年のうち一度か二度、猛烈にどこか旅に出たくなるのですが、それは今です。旅っていいですね。旅先で会おう一つ一つの経験が、自分をまた一つずつ自由にしてくれる気がします。

(M.N)

発行 2018年5月

特定非営利活動法人 京都自死・自殺相談センター事務局

〒600-8349 京都市下京区西中筋通花屋町下ル堺町92

T E L 075-365-1600

U R L <http://www.kyoto-jsc.jp>

E-mail so-dan@kyoto-jsc.jp